

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社菱友システムズ

コード番号 4685 URL <http://www.ryoyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 八坂 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理統括本部企画経理部長

(氏名) 山本 陽茂

TEL 03-5421-5811

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,795	△5.5	△233	—	△229	—	△125	—
25年3月期第2四半期	13,537	0.4	△28	—	△23	—	△38	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △122百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△19.78	—
25年3月期第2四半期	△5.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	12,655	5,652	40.3	803.05
25年3月期	13,999	5,865	37.9	834.68

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,098百万円 25年3月期 5,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△7.2	300	△60.5	300	△62.6	140	△63.9	22.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	6,355,000 株	25年3月期	6,355,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,484 株	25年3月期	6,286 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	6,348,581 株	25年3月期2Q	6,348,714 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の4ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和等の効果により、円高の是正や株価の回復、消費マインドの改善が顕在化し、景気持ち直しの動きが続いております。先行きについても、消費税率の引き上げや中国経済の減速、米国の財政問題等下振れリスクがあるものの、わが国の政治面での安定を背景に継続した成長が期待されております。

このような事業環境のなか、情報サービス産業界においても、顧客のIT投資が上向きつつあり、需要は微増で推移しました。

一方、当社グループは、従来からお客様に最適なサービスを提供するために事業体質の変革を進めており、この変革を加速するため、平成25年7月1日付でよりお客様に密着した体制とする組織変更を実施し、更なるサービス向上に努めてまいりました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間においては、主要顧客等からのシステム機器販売や情報処理サービスの受注が減少したため、売上高は前年同期より減少し127億95百万円（前年同期比5.5%減）となり、損益も売上減に加えてシステム開発案件における開発費用の増加に伴い悪化し、営業損失2億33百万円、経常損失2億29百万円、四半期純損失1億25百万円となりました。（前年同期は、売上高135億円37百万円、営業損失28百万円、経常損失23百万円、四半期純損失38百万円。）

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは平成25年7月1日付で実施した組織変更に伴い当第2四半期連結会計期間より報告セグメントを事業別の3区分から販売地域を基礎とした3区分に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔東日本〕

当セグメントは、主要顧客等からのシステム機器販売や情報処理サービスの受注が減少し、売上高は59億59百万円（前年同期比12.7%減）となり、加えてシステム開発の一部業務において開発費用が増加したため損益も悪化し、営業損失は2億93百万円（前年同期営業利益は21百万円）となりました。

〔中日本〕

当セグメントは、主要顧客等からのシステム機器販売の受注が増加し、売上高は36億69百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は1億5百万円（前年同期営業利益は1百万円）となりました。

〔西日本〕

当セグメントは、一般顧客等からのシステム機器販売の受注が減少し、売上高は32億19百万円（前年同期比7.1%減）、営業損失は45百万円（前年同期営業損失51百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて13億44百万円減少し126億55百万円となりました。受取手形及び売掛金の減少が主な要因となっております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて11億31百万円減少し70億2百万円となりました。未払費用、買掛金の減少が主な要因となっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億12百万円減少し56億52百万円となりました。利益剰余金の減少が主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細は、本日（平成25年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	725	589
受取手形及び売掛金	6,404	4,185
商品	208	381
仕掛品	297	887
預け金	2,038	2,149
その他	855	960
貸倒引当金	△7	△3
流動資産合計	10,522	9,150
固定資産		
有形固定資産	1,391	1,385
無形固定資産	172	163
投資その他の資産		
その他	1,918	1,962
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	1,912	1,956
固定資産合計	3,476	3,504
資産合計	13,999	12,655
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,436	1,040
未払法人税等	255	21
工事損失引当金	6	51
未払費用	2,250	1,871
その他	591	296
流動負債合計	4,540	3,281
固定負債		
退職給付引当金	3,461	3,564
役員退職慰労引当金	86	71
その他	45	85
固定負債合計	3,593	3,720
負債合計	8,133	7,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	685	685
資本剰余金	250	250
利益剰余金	4,778	4,573
自己株式	△3	△4
株主資本合計	5,710	5,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	19
土地再評価差額金	△426	△426
その他の包括利益累計額合計	△411	△407
少数株主持分	566	554
純資産合計	5,865	5,652
負債純資産合計	13,999	12,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,537	12,795
売上原価	11,745	11,311
売上総利益	1,792	1,484
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	907	865
その他	913	852
販売費及び一般管理費合計	1,820	1,717
営業損失(△)	△28	△233
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	0
助成金収入	0	1
その他	0	0
営業外収益合計	5	4
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除却損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常損失(△)	△23	△229
特別損失		
事業構造改善費用	—	13
特別損失合計	—	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△23	△243
法人税等	7	△116
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31	△126
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6	△0
四半期純損失(△)	△38	△125

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31	△126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	4
その他の包括利益合計	△4	4
四半期包括利益	△35	△122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42	△121
少数株主に係る四半期包括利益	6	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	東日本	中日本	西日本	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	6,777	3,294	3,465	13,537	—	13,537
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	50	0	—	51	△51	—
計	6,828	3,295	3,465	13,588	△51	13,537
セグメント利益又は損失(△)	21	1	△51	△28	—	△28

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	東日本	中日本	西日本	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,909	3,669	3,216	12,795	—	12,795
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	49	—	2	52	△52	—
計	5,959	3,669	3,219	12,848	△52	12,795
セグメント利益又は損失(△)	△293	105	△45	△233	—	△233

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成25年7月1日付で実施した組織変更に伴い、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の事業別の3区分(情報処理サービス事業、システム開発事業、システム機器販売事業)から、販売地域を基礎とした3区分(東日本、中日本、西日本)に変更しており、当該3区分はそれぞれの地域に位置する拠点で構成されております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に組み替えたものを記載しております。